

生まれたばかりの赤ちゃん

ほんとに小さくてたよりなげですが、生きていくのに必要なことはしっかり身につけて生まれてきています。

肌

生後2～3日ごろから、肌が黄色みをおびてきます(新生児黄疸)が2週間くらいで消えます。お尻のところに青くみえるのは「蒙古斑(もうこはん)」。小学生になるころには消えます。

姿勢

腕も足も曲げているので、腕はW字型、足はM字型をしています。手のひらは軽く閉じています。

へその緒

生後1週間くらいでとれます。退院時にとれていないときは、手当のしかたを聞いておきましょう。

うんちとおしっこ

最初に出るうんちは、ネバネバした黒っぽい色で「胎便(たいべん)」といいます。おっぱいを飲むようになると、少しずつ黄色いうんちになります。おしっこは色もほとんどなく、1日に十数回します。



くちびるで触れたものに吸い付きます。

頭

頭のてっぺんにひし形のすき間があり、さわるとベコベコしています。「大泉門(たいせんもん)」といい、これからの脳の成長にそなえるためのものです。1歳から1歳半くらいで閉じます。

目

目は近くの方がぼんやり見えています。とくに人の顔(目や口もと)をよく見ます。

耳

耳は聞こえています。おなかの中で聞いていたママの声は大好きです。

鼻

においに敏感で、お母さんのおっぱいのおいさをちゃんとわかっています。

